

今年度は5月末までの臨時休業で授業が遅れ、今年度中に学年の学習が終わるか心配しました。夏休みの短縮、土曜授業、火曜日の6時間目、学びロング、朝の学習など皆さんがんばったので、授業の遅れはなくなりました。

ただ、授業が進むのが速くて、分からないことが多かったなど不安に感じている人もいます。この冬休みこそ、それを解消するいいチャンスです。自分は、どの学習が得意で、どの学習が分からなかったか、しっかり振り返り、自信がない学習を分かるようにする、そんな自主学習をしてほしい。

それが「みんなで頑張る3つのめあて」の3つめの「考えて家庭学習をしよう」ということです。しかし、授業で分からなかったことですから簡単に分かるように、できるようにはなりません。そこで2つ目のめあて「できないことにも粘り強く取り組もう」を胸に頑張ってもらいたいと思います。

今、新型コロナウイルス感染の第3波がきています。県内でも毎日2・30人の感染者が出ています。そのうちの半分以上は、感染経路が不明、つまりどこで感染したのか、誰から感染したのか分からないそうです。

感染した人は、マスクをしていなかったのでしょうか、手指の消毒をしていなかったのでしょうか、話をしながら食事をしていたのでしょうか、そんなことはありません。しっかり感染防止対策をとっていたのに感染した人もいます。

それじゃ、感染防止対策をとっても意味ないじゃないと考える人もいます。しかし、これは可能性の問題です。感染防止対策をとってなければ、感染する可能性は大きくなります。感染防止対策を取ってれば、感染する可能性が小さくなります。感染の可能性をゼロまで近づけることができます。学校で行っている、マスクをする、大きな声で話をしない、手洗い消毒をする、食事中に話をしない等の感染防止対策を冬休み中も家庭で続けてください。

感染する可能性はゼロにはならない訳ですから、感染したらどうなるかを想像することも大切です。皆さんが感染したら、軽症や症状が無くても、入院したり、しばらく家の中から出られなくなったりします。学校にもくることができません。友達とも遊べません。家族は感染している可能性の高い濃厚接触者になりますから、家の外にでることができません。お父さんもお母さんも仕事に行けなくなります。仲のよい友達も濃厚接触者になることもありますから、その友達もしばらく外に出られなくなります。自分自身も苦しいですが、周りの人に大きな迷惑をかけるので、申し訳なくて大変つらい思いをします。

「明日はわが身」という言葉あります。人の不幸を目にしたとき、明日は自分に起こるかもしれないと考え、その人のことを考え、やさしく接することです。明日は自分が感染するかもしれないのです。その可能性はゼロではないのです。感染を自分のこととして考え、感染から回復した方を差別するのではなく、あったかい気持ちをもって接する人になってほしいと思います。

最近テレビで感染の治療をしているお医者さんや看護師さんを差別するニュースを目にします。これも悲しいことです。「明日はわが身」、もし感染したら、お医者さん、看護師さんは唯一頼れる人、命の恩人と感じるはずです。感染を自分のことと考え、お医者さんや看護師さんに感謝の気持ちをもつことも大切です。